

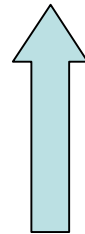
難病患者の在宅療養における 災害時支援

～ 宮崎県日南保健所での取り組み ～

日南保健所 蓑毛 真寿美

災害に強い地域づくりをめざして

災害弱者と言われる人たちが安全で安心して過ごせる



支援体制システム

要支援者当事者、地域住民、医療関係者、福祉関係者等
の共通理解、協力

特定疾患医療受給者の情報提供の意向

対象者： 特定疾患継続更新対象者 394名

(一般 329名 重症 65名)

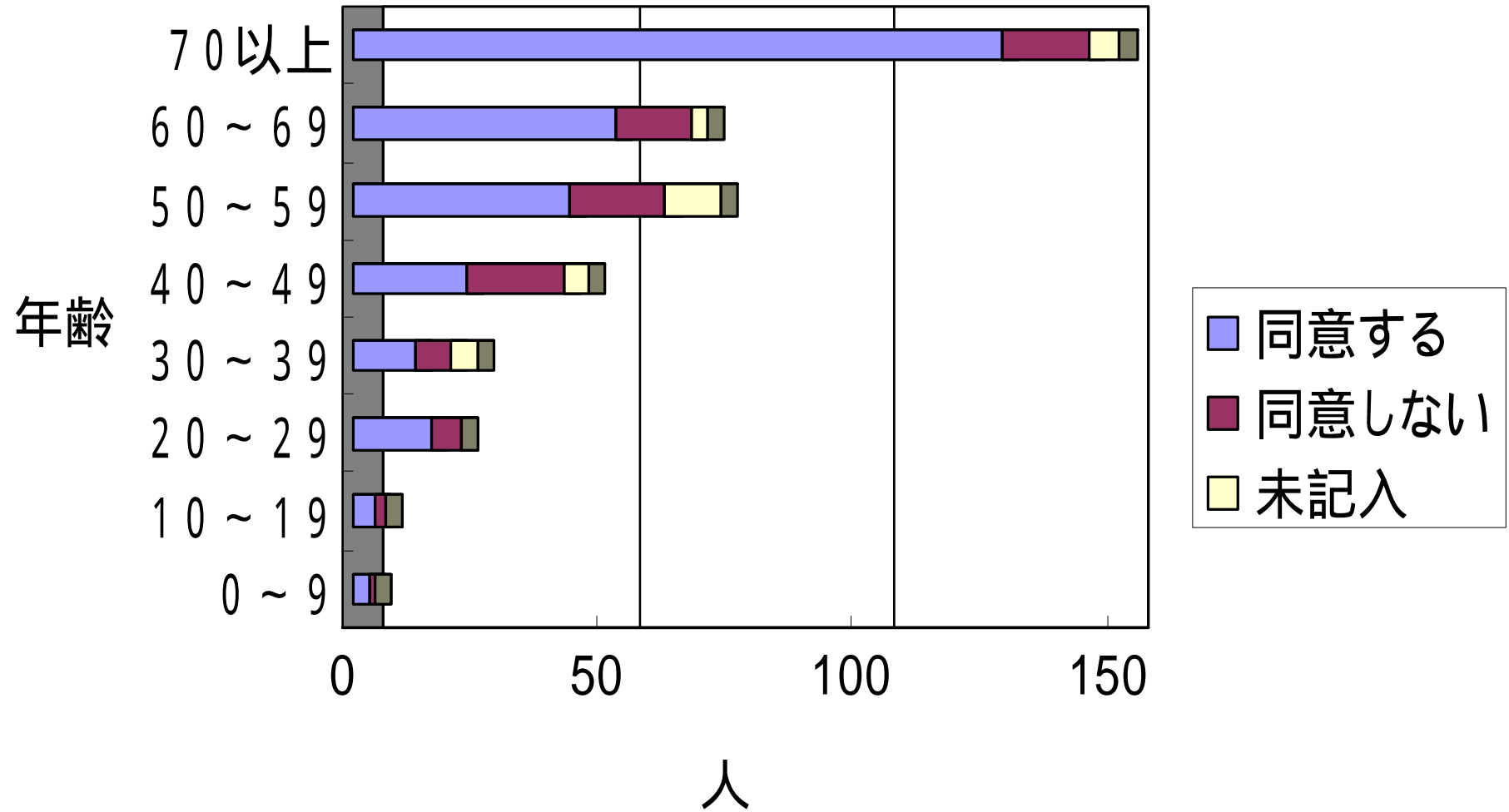
情報提供に同意した者： 276名

(一般 226名 重症 50名)

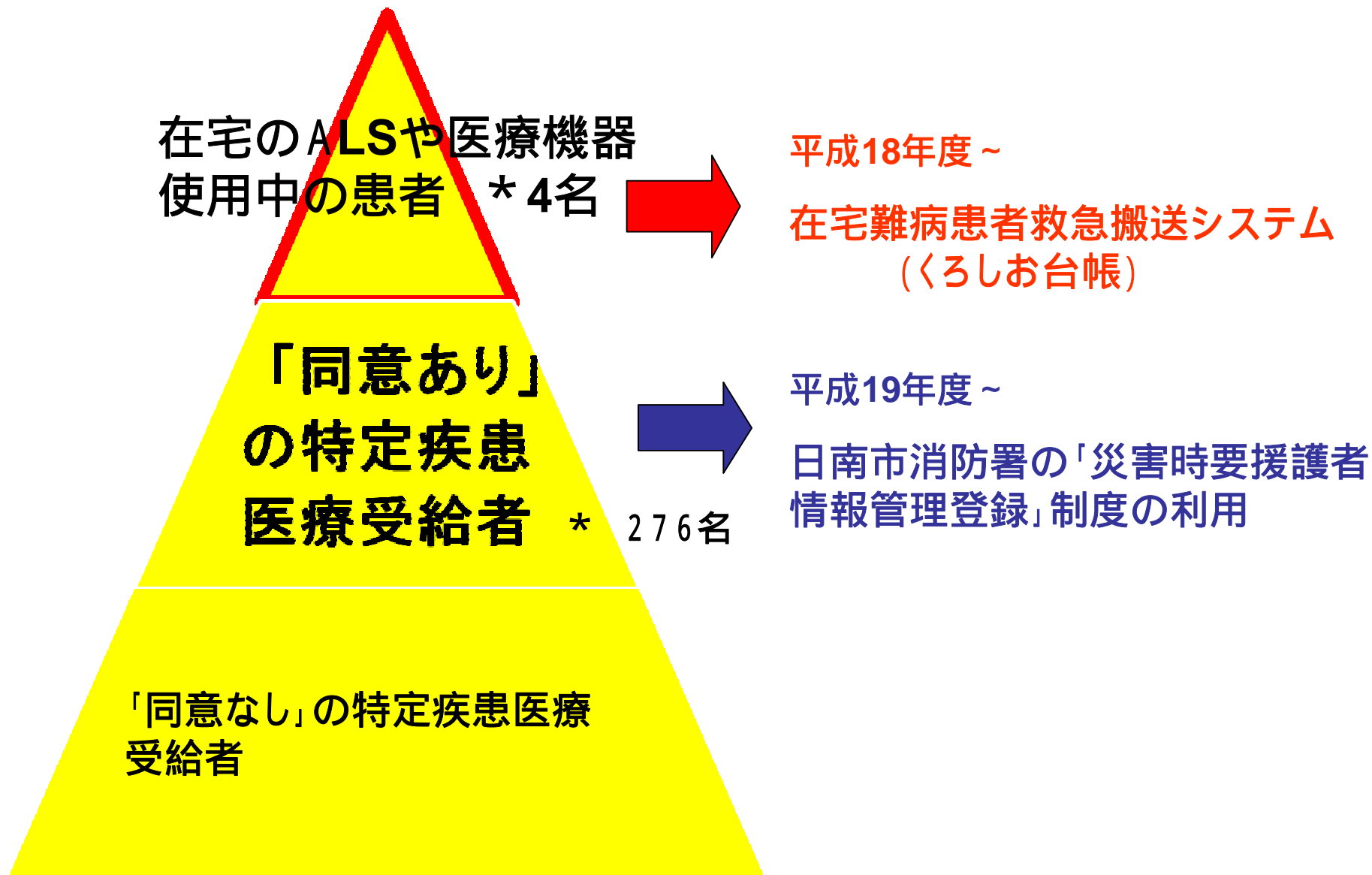
同意者の割合：70.1%

(一般 68.7% 重症 76.9%)

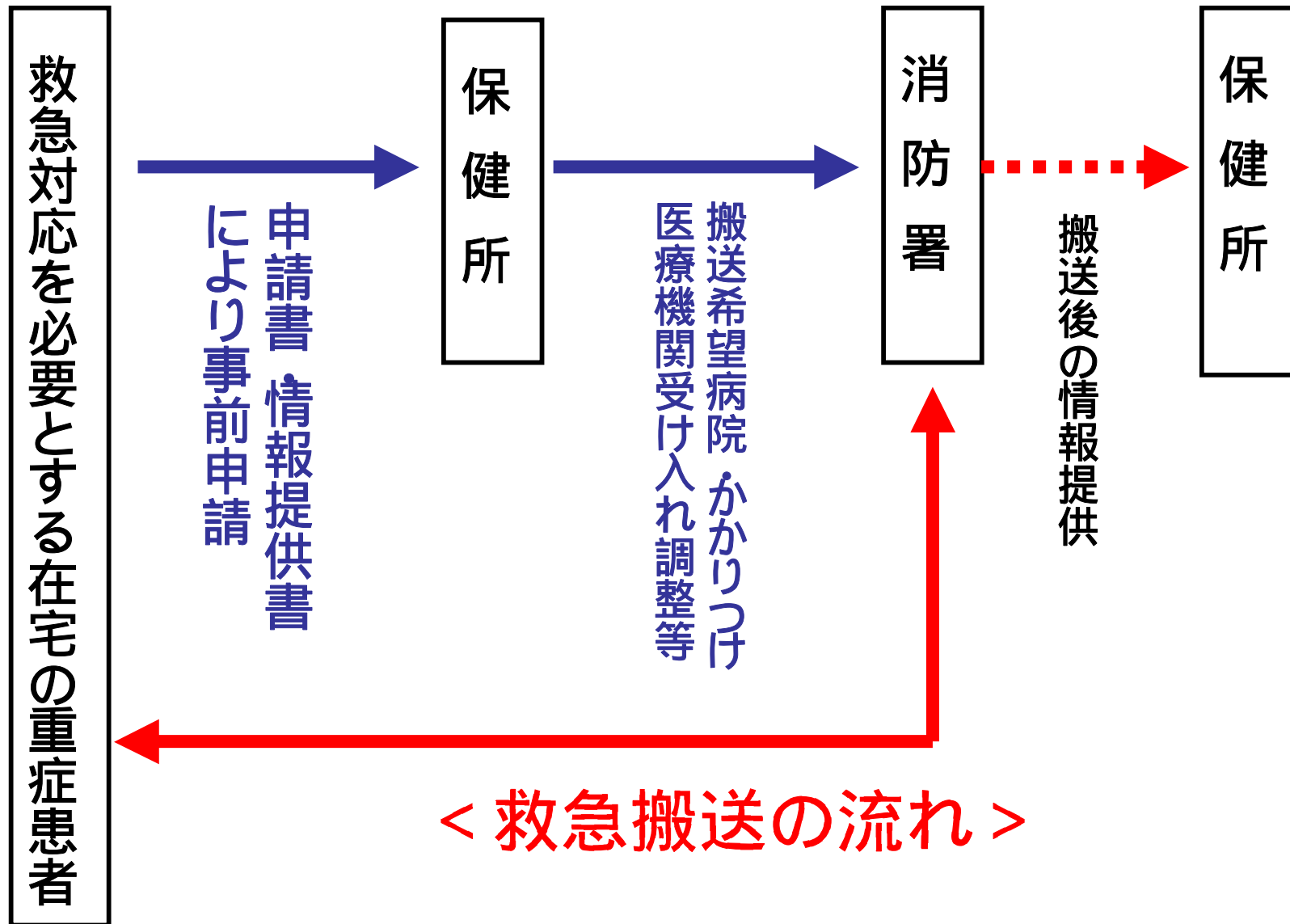
図1 年齢構成別同意状況



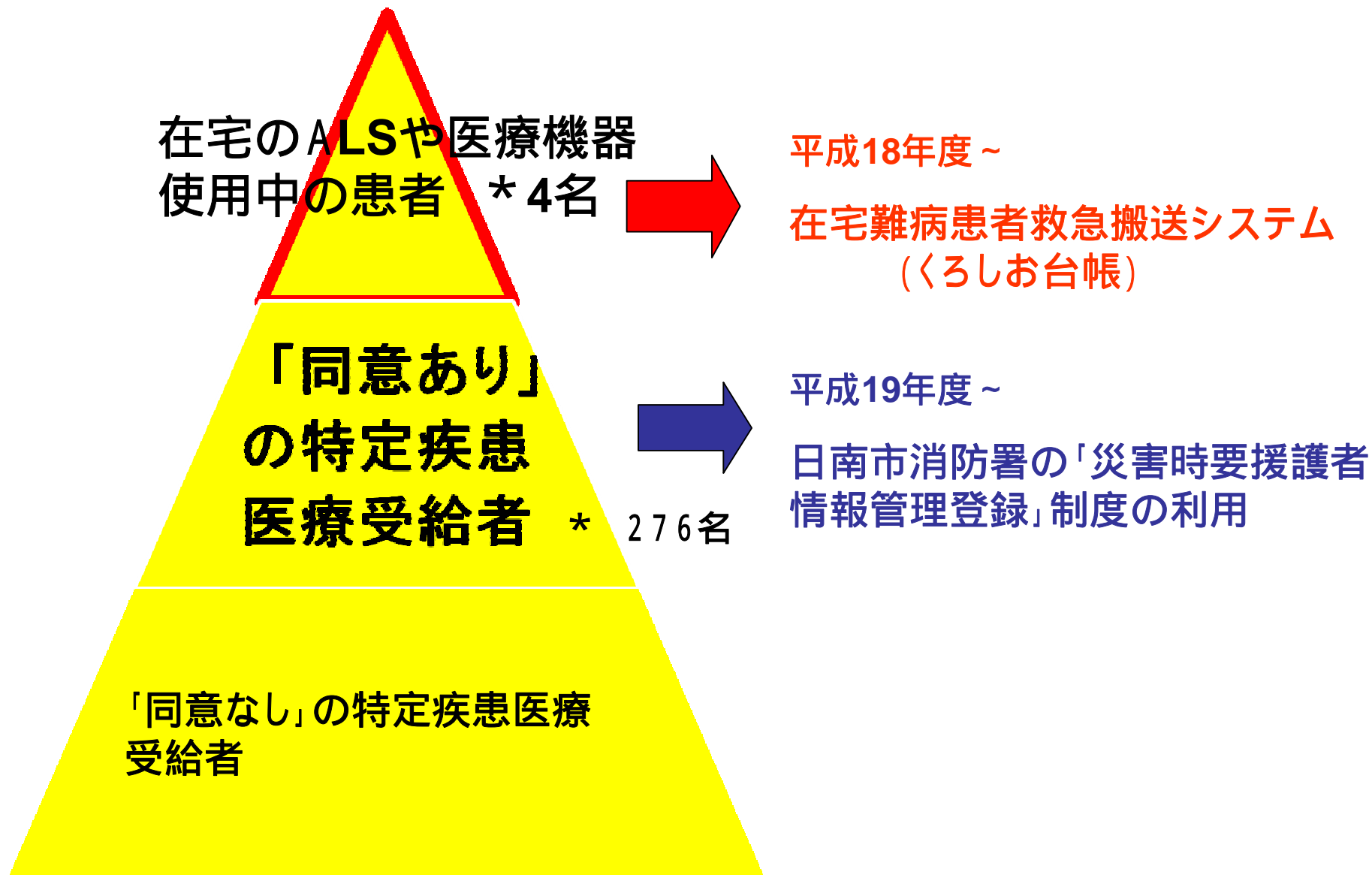
日南保健所における災害時支援の取り組み



在宅難病患者救急搬送システム(くろしお台帳)



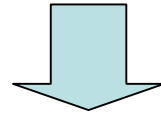
日南保健所における災害時支援の取り組み



1 消防署他関係機関との連携強化

平成18年度:

- ・ くろしお台帳作成
- ・ 消防署への情報提供・登録



平成19年度

- ・ 関係機関とのネットワークの構築

日南市消防 ~ 「災害時要援護者情報管理登録」の活用

日南市等の行政機関の他 多くの地域団体による
情報の共有と災害時の活用

串間市消防 ~ コンピューター登録・搬送後保健所に連絡

2 災害時の個別支援計画の検討

- 1 対象者 在宅神経難病患者 12名
- 2 調査方法 家庭訪問による聞き取り
- 3 調査項目
 - ・ 身体状況
 - ・ 療養状況
 - ・ 家族以外の連絡先
 - ・ 避難先、支援等の関係者
 - ・ 非常持ち出し品
 - ・ 本人・家族がすること
 - ・ 受け入れ病院

調査結果

1 緊急連絡

- ・ 12名の内8名は、家族以外の人を緊急連絡先にしていた。

2 非常持ち出し品

- ・ 全員が受診に必要なもの(保険証等)しか準備していない

3 病状悪化時や災害時の搬送および避難先について

- ・ ほとんどが救急車による搬送を希望

今後の課題と対策

- 1 災害時等トリアージについて
 - ・ 支援対象者の選定と台帳の整備
 - ・ 事前個別支援計画の作成・点検
- 2 関係機関とのネットワーク
 - ・ 平常時、災害後のフォロー体制の確立
- 3 未同意者の実態把握

基幹協力病院

保健所

市町村

消防署

拠点病院

要支援者

かかりつけ
医療機関

訪問看護ス
テーション

社会福祉協議会

地域消防団

介護サービ
ス事業所

宮崎県難
病医療連
絡協議会

医療機器メ
ーカー